

漁業構造改革総合対策事業の進捗状況

平成24年8月10日時点

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					備考			
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証(用船)開始				
1	八戸漁業指導協会	八戸①	大中型まき網	青森県旋網漁業協同組合	○	平成19年6月25日	H20年4月から、船団の縮小(4隻→2隻)等の改革型漁船による操業を開始。 ※H23年3月で終了。	第八十三惣賢丸	改革型	—	ミニ船団化(4隻→2隻、52名→33名)、燃油削減、操業合理化、冷凍サブ開発等	H20年4月開始 H23年3月終了			
		八戸②	大中型まき網	青森県旋網漁業協同組合	○	平成22年8月30日	H23年5月から複数海域操業型で船団の縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業を開始	第六十三惣賢丸	改革型	—	ミニ船団化(4隻→3隻、52名→42名)、セミエアープラスト凍結、ブランド化推進等	H23年5月開始 ※H24年5月から がんばんへ移行	【がんばんへ移行】 平成23年12月21日 漁業復興計画認定		
		八戸③	小型機船底びき網等	八戸みなと漁業協同組合	○	平成23年5月13日	改革型漁船の導入によりコスト削減及び鮮度向上・付加価値向上等を図る。	未定丸	改革型	—	安全性の確保(鋼船→FRP船、サイド→船尾揚網)、省エネ・省人化、鮮度保持、衛生管理等	H24年度予定			
2	(財)千葉県水産振興公社	千葉県①	沖合底びき網	銚子市漁業協同組合	○	平成20年2月15日	H20年6月から、従来漁船(74t)を廃船し小型化(19t)した改革型漁船により、活魚出荷の比率向上等を旨とする操業を開始。 ※H23年5月で終了。	第十五富丸	改革型	○	漁船小型化(50~70t→19t)、生産組合による協業化、活魚比率向上、直販等高付加価値化	H20年6月開始 H23年5月終了			
		千葉県②	沖合底びき網	銚子市漁業協同組合	○	平成22年12月10日	従来漁船(74t)を廃船し小型化(19t)、作業効率化、鮮度管理向上を図った船主ブリッジ型の改革型漁船を導入	第一吉代丸	改革型	○	船体の小型化(70トン型→19トン)によるコストの削減、船首ブリッジによる作業性・安定性の向上、滅菌海水装置導入等による鮮度保持等	H24年6月開始			
3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	北海道機船漁業協同組合連合会	北海道機船漁業	室蘭地区	沖合底びき網	室蘭漁業協同組合	○	平成19年9月19日	H20年9月から、省コスト共通船型等の改革型漁船第1船目(11萬漁丸)による操業を開始 * H21年8月で終了 H21年9月から、第2船目(72萬漁丸)による操業を開始。	第十一萬漁丸	改革型	—	省コスト共通船型、省人化、操業共同化、活魚出荷、鮮魚輸出等	H20年9月開始 H21年8月終了		
									七十二萬漁丸	改革型		省コスト共通船型、省人化、操業共同化、コンテナ荷役導入、活魚出荷、鮮魚輸出等	H21年9月開始		
			小樽地区	沖合底びき網	小樽機船漁業協同組合	○	平成20年7月7日 平成22年1月19日 (再認定)	H20年9月 地域の漁船9隻のうち3隻を減船し合理化、省エネ・省コスト型の改革型漁船による操業を開始	第八十一桂丸	改革型	○	生産体制合理化、協業化、省エネ・省人・省コスト化、資源管理、地域ブランド化、新製品開発・拡販、高鮮度保持等	H22年2月開始		
									釧路地区	沖合底びき網	釧路機船漁業協同組合	○	平成21年10月21日	H22年9月から、高鮮度出荷や船内1次加工による高付加価値化を目指した改革型漁船(15萬丸)による操業を開始。第2船目を建造予定。	第十五富丸
			未定丸	改革型	船内一次加工処理による付加価値向上	未定									
			紋別地区	沖合底びき網	紋別漁業協同組合	-	-	策定中							
			広尾地区	沖合底びき網	-	-	-	中小漁業経営支援協議会の活用により地区の2隻を新造済み。改革計画の策定はしない予定。							
稚内地区	沖合底びき網	-	-	-											
9	鳥取県漁業協同組合	賀露①	沖合底びき網	鳥取県漁業協同組合	○	平成20年1月21日	H20年9月から、活魚出荷の比率向上、省エネ船型等の改革型漁船による操業を開始 * H23年8月で終了	第三生洋丸	改革型	—	活魚比率向上、滅菌海水・シャーベット海水氷導入、大口径プロペラ省エネ船型等	H20年9月開始 H23年8月終了			
		賀露②	沖合底びき網	鳥取県漁業協同組合	○	平成22年3月25日	H23年9月から、船上凍結により高鮮度な加工原魚や高品質な冷凍魚の供給を行うなど高付加価値化を目指した改革型漁船を建造予定。	第一正東丸	改革型	—	船上凍結機能の搭載、軽量漁具の導入と曳網時間短縮等によるさらなる省エネ化等	H23年9月開始			
10	但馬漁業協同組合	香住	べにずわいかに籠(知事許可)	但馬漁業協同組合	○	平成20年8月12日	H20年9月から、べにずわいかに用の常設活魚艙等を装備した改革型漁船による操業を開始 * H23年8月で終了	栄福丸	改革型	—	活魚による付加価値向上、資源回復計画推進、ブランド化推進	H20年9月開始 H23年8月終了			

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況							用船の概要				備考			
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称		漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況		コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業		個別コンセプト	実証(用船)開始	
11・12・13	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会	北部太平洋まき網漁業	大津地区		大中型まき網	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会	○	平成20年1月21日	H20年10月から、船団縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業を開始 *H23年9月で終了	第七新丸	改革型	—	HACCP対応型運搬兼探索船、船団スリム化(4→3隻、46→41名)、高鮮度水揚げ地域活性化等	H20年10月開始 H23年9月終了	
			波崎地区	波崎①	大中型まき網	はさき漁業協同組合	○	平成20年6月11日	H21年8月から、船団縮小(4隻→2隻)等の改革型漁船による操業を開始	第八十八石田丸	改革型	—	ミニ船団化(4隻→2隻、50名→35名)、安全性・居住性確保、省コスト化 ※事業費未使用で実証	H21年8月開始 H24年7月終了	
				波崎②	大中型まき網	はさき漁業協同組合	○	平成21年6月25日	H22年4月から船団の縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業を開始 H24年4月から、がんばる漁業による操業へ移行	第八十八稲荷丸	改革型	—	船団スリム化(4→3隻、47→39名)、安全性・居住性確保、高付加価値製品生産、地域ブランド確立・拡販	H22年4月開始 ※H24年4月から がんばるへ移行	【がんばるへ移行】 平成23年12月21日 漁業復興計画認定
				波崎③	大中型まき網	はさき漁業協同組合	○	平成23年5月13日	船団の縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業、EUHACCP対応型の運搬船の導入による高鮮度・高付加価値製品の生産	第七十八石田丸	改革型	—	船団スリム化(4→3隻、49→42名)、安全性・居住性確保、高付加価値製品生産、地域ブランド確立・拡販 ※事業費未使用で実証	H24年2月開始	【がんばるへ移行】 平成23年12月21日 漁業復興計画認定
			小名浜地区	小名浜①	大中型まき網	福島県旋網漁業協同組合	○	平成21年8月20日	H21年10月から、2ヶ統8隻体制から7隻体制に合理化したモデル船団による収益性回復の実証の操業を開始 *H23年11月で終了	第三十一寿和丸、第三寿和丸	マイルド	—	船団スリム化(2ヶ統8隻体制→2ヶ統7隻体制)、高鮮度製品生産、地域連携販路拡大	H21年10月開始 H23年11月終了	
				小名浜②	大中型まき網	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会	○	平成23年5月13日	船団の縮小(4隻→3隻)、コンテナバック等の導入を検討	第八共徳丸	改革型	—	船団スリム化(4→3隻)による省エネ・省コスト化、コンテナバック導入による鮮度保持等	H24年6月開始 (がんばる漁業)	【がんばるへ移行】 平成23年12月21日 漁業復興計画認定
14	日本遠洋旋網漁業協同組合	遠旋組合① (九州北西地域)		大中型まき網	日本遠洋旋網漁業協同組合	○	平成20年2月15日	H21年1月から、船団の縮小(5隻→4隻)等の改革型漁船による操業開始 *H24年1月で終了	第八十一天王丸	改革型	—	船団スリム化(5隻→4隻)、安全性・居住性確保、操業コスト削減、操業効率化	H21年1月開始 H24年1月終了		
		遠旋組合② (九州北西地域)		大中型まき網	日本遠洋旋網漁業協同組合	○	平成22年3月25日	2船団10隻体制から9隻体制による合理化したグループ操業船団によるトータルコストの削減可能な改革型漁船を建造予定。	第八十一大栄丸	改革型	—	2船団10隻体制から9隻体制によるグループ操業化、安全性・居住性確保やトータルコストの低減	H23年4月開始		
15	石巻市水産振興協議会	石巻①		大中型まき網	宮城県旋網漁業協同組合	○	平成20年2月15日	H21年8月から、単船操業が可能な改革型漁船による操業を開始	第二たいう丸	改革型	—	単船化、省エネ・省人化、操業コスト削減、サバ船内凍結等	H21年8月開始 H24年7月終了		
		石巻②	沖合底びき網					低コスト操業と収益性向上を重視した次世代型底びき網漁船を建造予定 ①沖合底びき網漁船(19トン型) H22年9月から、新型トロールウィンチの導入による作業の効率化、船上での活〆、脱血処理による高級魚の付加価値向上の改革型漁船による操業を開始	第三福寿丸	改革型	—	大口径プロペラ等による省エネ化、新型トロールウィンチによる作業の効率化、船上での活〆、脱血処理による高級魚の付加価値向上	H22年9月開始 (H23年4月より休止)		
			小型底びき網	渡波漁船漁業協同組合	○	平成22年3月25日	②小型底びき網漁船(9.7トン型) H22年12月から、小型化(14トン→9.7トン)、冷水循環装置の導入による活魚率の向上の改革型漁船による操業を開始。	第三十八大芳丸	改革型	—	船体の小型化、スーパーキャップ付きプロペラによる省エネ化、冷水循環装置の導入による活魚率の向上(被災により代船を検討)	H22年12月開始 (H23年4月より休止)			
			小型底びき網				③小型底びき網漁船(9.7トン型) H22年6月から、他漁業との兼業化によるコスト削減、冷水循環装置の導入による活魚率の向上の改革型漁船による操業を開始。	第二十八黄金丸	改革型	—	他漁業との兼業化によるコスト削減、スーパーキャップ付きプロペラによる省エネ化、冷水循環装置の導入による活魚率の向上(被災により代船を検討)	H22年6月開始 (H23年4月より休止)			
		石巻③	沖合底びき網	未定			策定中	省エネ、高鮮度保持、操業の安全性の確保等の取組を検討							
16	(社)境港水産振興協会	境港①		べにずわいかに籠(大臣許可)	鳥取県漁業協同組合	○	平成20年11月27日	H21年9月から、省エネ・省コスト型で高鮮度保持が可能な改革型漁船による操業を開始	第五十五吉丸	改革型	—	省エネ・省コスト化、シャベット水導入付加価値向上、エコラベル取得、地域連携PR活動等	H21年9月開始		
		境港②		沖合底びき網	(リース事業の活用)	—	—	リース事業の活用により対応、改革計画策定はしない。	—	改革型	—	—	—		
17	但馬漁業協同組合	柴山		沖合底びき網	但馬漁業協同組合	○	平成21年7月6日	H21年9月から、耐候性のある船首ブリッジ型ずわいがにこだわり型漁船(1船目・光春丸)、H22年9月から魚類の高品質生産が可能な改革型漁船(第2船目・西善丸)による操業を開始	光春丸	改革型	—	常設活魚倉設置、冷水循環ろ過・紫外線殺菌装置導入、作業性・安全性向上等ずわいがにこだわりタイプ(船首ブリッジ型)	H21年9月開始		
									西善丸	改革型	—	作業スペース確保、網揚げ選択性、冷凍能力向上、高機能選別機導入等高品質魚類対応タイプ(船央ブリッジ型)	H22年9月開始		

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況					用船の概要					備考		
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト		実証(用船)開始	
18	浜坂町漁業協同組合	浜坂	沖合底びき網	浜坂町漁業協同組合	○ 平成21年7月6日	H21年9月から、従来漁船(90t型鋼船)を廃船し小型化(65t型FRP船)した改革型漁船による操業を開始	長勢丸	改革型	○	船体小型化・FRP導入生産コスト削減、省エネ・省人化、作業効率化・安全性向上、地域連携高付加価値化等	H21年9月開始		
19	山口県以東機船底曳網漁業協同組合	下関	沖合底びき網(2そう曳き)	山口県以東機船底曳網漁業協同組合	○ 平成23年6月3日	H24年4月から、漁船の省エネ・省力化、鮮度保持機能・衛生管理の向上、地域ブランド化未利用資源の利用を目指した改革型漁船による操業を開始	3やまぐち丸 5やまぐち丸	改革型	—	船体小型化・主機馬力低減、直巻きウインチ導入、バラ出荷増大、オーニング設置、冷海水装置・親設計活魚槽・製氷機導入等	H24年4月開始		
20	静岡県旋網漁業者協会	静岡県旋網漁業	大中型まき網	戸田漁業協同組合	○ 平成21年3月11日 平成22年3月31日(再認定)	H23年1月から、船団縮小(6隻→5隻)、高鮮度・衛生管理等の改革型漁船による操業を開始	第十六大師丸(運搬船兼灯船)	改革型	—	船団スリム化(6隻→5隻、63名→57名)、探索兼運搬船の灯船・探索機能化、省エネ、電気推進、安全性、操船性、居住性の向上等	H23年1月開始		
21	和歌山南漁業協同組合	紀伊水道	中型まき網	和歌山南漁業協同組合	○ 平成21年3月11日	H21年7月から、9隻体制から7隻体制に合理化したモデル船団による収益性回復の操業を開始 *H23年6月で終了	第一吉幸丸、第二吉幸丸	マイルド	○	船団スリム化(9→7隻)、省エネ・省人化、鮮度保持規格統一、地域ブランド確立、付加価値向上、販売体制強化	H21年7月開始 H23年6月終了		
22	気仙沼漁業協同組合	気仙沼①	近海まぐろはえ縄	気仙沼漁業協同組合	○ 平成21年10月21日	H22年8月(7勝漁丸)、H22年10月(17祐喜丸)から、省エネ・省コスト化、労働環境の改善、高鮮度保持可能な次世代型まぐろ延縄漁船による操業を開始	第十七祐喜丸	改革型	—	(119t)メカジキを対象として、航海日数、針数削減による高鮮度化	H22年10月開始		
		気仙沼②	近海まぐろはえ縄	気仙沼漁業協同組合	○ 平成23年12月21日	H24年4月から、近海まぐろ延縄漁船13隻の集団操業と水揚げ量の均衡化、省エネ・操業時間の短縮、漁獲物の高鮮度保持等がんばる漁業の既存船活用型の操業を開始	第七勝漁丸	改革型	—	(145t)省エネ・省力・省人化、労働環境の改善、ヨシキリザメの高鮮度水揚げ	H22年8月開始		
23	浜田市水産業振興協会	浜田	沖合底びき網(2そう曳き)	漁業協同組合JFしまね	○ 平成23年8月23日	漁船のリップ等による省エネ・高鮮度化・活魚の販売促進等による収益性回復	未定丸	マイルド	—	LED照明灯、低抵抗・選択漁具の導入、海水冷却装置・魚倉保冷装置・活魚導入等	H24年度予定		
24	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	遠洋まぐろ延縄漁業全体計画(マスタープラン)	遠洋まぐろはえ縄		○ 平成24年7月30日	燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上、操業の効率化等							
		遠洋まぐろ延縄漁業(気仙沼)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成22年12月24日 平成23年9月1日(変更)	H24年4月から、船上ロイン加工、省エネ等によるがんばる漁業・既存船活用型の操業を開始	第十八八幡丸	マイルド	—	40kg以上のメバチの船上ロイン加工、量販店への販売、省エネ・コスト削減等	H24年5月開始(がんばる漁業)	【がんばるへ移行】平成23年12月21日漁業復興計画認定	
		遠洋まぐろ延縄漁業(気仙沼②)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成24年5月31日	省エネ型新船の導入、EU衛生基準に対応した設備導入による漁獲物の付加価値向上、漁獲物のEUへの輸出	未定丸	改革型		冷凍機のインバータ制御・アンロード制御等の導入による省エネ、EU衛生基準に完全対応した設備の導入、漁獲物の付加価値向上	H25年度予定		
		遠洋まぐろ延縄漁業(気仙沼③)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成24年5月31日	省エネ型新船の導入、凍結方法の工夫による漁獲物の高付加価値化	未定丸	改革型		冷凍機のインバータ制御・アンロード制御等の導入による省エネ、海水スラリーアイス・超低温エアブラストを使用した高品質マグロ製品の製造	H24年度予定		
		遠洋まぐろ延縄漁業(宮古)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年2月18日	省エネ船、脱血処理等の徹底による漁獲物の付加価値向上等の改革型漁船の建造を予定	第八十八清福丸	改革型	—	冷凍機のインバータ制御による省エネ、脱血処理等の徹底による漁獲物の付加価値向上	H24年5月開始		
		遠洋まぐろ延縄漁業(高知)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年9月1日	H24年4月から、既存船の省燃費型への改修、ビンナガの船上加工等による収益性回復を目指した操業を開始	第三十八高豊丸	マイルド		冷凍システムにインバーターの導入による省エネ、船上での脂質測定による選別の基準化、高鮮度処理ビンナガの地元販売業者の連携等	H24年4月開始		
		遠洋まぐろ延縄漁業(焼津)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年5月18日	H24年4月から、燃油消費量の削減、超深網漁法の導入、コールドチェーンの再構築等により収益性回復を目指した操業を開始	第三十五福積丸	マイルド		漁獲物保冷温度を上げコールドチェーンの再構築を目指すとともに、冷凍機のインバータ制御による省エネ、深網導入による釣獲率向上等	H24年4月開始		
		遠洋まぐろ延縄漁業(尾鷲)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年9月1日	漁船の小型化、省エネ、アルコールスラリーアイスの導入によるメバチの高付加価値化	第一長久丸	改革型		アルコールスラリーアイスの導入による高品質品の製造・省エネ・省力化、船員居住区の改善等	H24年6月開始		
		遠洋まぐろ延縄漁業(三重)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合		策定中	複数隻の省エネ、協業化等によるコスト削減、漁獲物処理等の共通基準の設定等の取組を検討		マイルド				

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					備考		
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況		コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト		実証(用船)開始	
		遠洋まぐろ延縄漁業(いわき)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○	平成24年5月31日	省エネ型新船の導入、マグロショック機の導入による漁獲物処理の迅速化による品質向上	未定丸	改革型		冷凍機のインバータ制御・アンロード制御等の導入による省エネ、マグロショック機の導入による処理作業の迅速化及び品質向上	H25年度予定		
		遠洋まぐろ延縄漁業(三崎)	遠洋まぐろはえ縄	未定	○	平成24年7月30日	船型の小型化、超深縄漁法の導入による釣獲率の向上、漁獲物の付加価値向上	未定丸	改革型			H25年度予定		
		遠洋まぐろ延縄漁業(いちき串木野)	遠洋まぐろはえ縄	未定	○	平成24年7月30日	省エネ型新船の導入、次世代型冷凍システムの導入による省エネ、操業方法の転換	未定丸	改革型			H25年度予定		
25	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	遠洋かつお一本釣漁業(焼津)	遠洋かつお一本釣り	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○	平成22年3月25日	H22年9月から、インバーター設置による燃油使用量の10%以上の削減等の収益性回復の実証操業を開始。	第八勝栄丸	マイルド	—	インバーター設置による燃油使用量の削減、船上活き〆脱血装置による高付加価値化(S-1カツオの製造)等	H22年9月開始		
		遠洋かつお一本釣漁業(女川)	遠洋かつお一本釣り	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○	平成23年2月18日	H24年4月から、遠洋かつお一本釣りと海外まき網漁業とのハイブリッド化による操業コストの削減を目指した新船導入型の操業を開始	第十八宮丸	改革型	—	遠洋かつお一本釣りと海外まき網漁業とのハイブリッド化による操業コストの削減	H24年4月開始	【がんばるへ移行】平成23年12月21日漁業復興計画認定	
26・27	全国さんま棒受網漁業協同組合	全国さんま棒受網漁業	大船渡地区	さんま棒受網	大船渡市漁業協同組合	○	平成23年5月13日	H23年10月から、専業型・改革型漁船の導入によるコスト削減・安全性の確保、高付加価値サンマの生産・流通を目指した操業を開始。	第十八三笠丸	改革型	—	大型化による安全性・居住性の確保、LED集魚灯の導入等による省エネ、冷凍さんま生産及び高鮮度鮮魚。高衛生管理の新たな高付加価値化等	H23年10月開始	【がんばるへ移行】平成23年12月21日漁業復興計画認定
			気仙沼地区	さんま棒受網	気仙沼漁業協同組合	○	平成23年8月23日	兼業型・改革型漁船の導入によるコスト削減、安全性の確保、高付加価値化等	第三太喜丸	改革型		省エネ船型・低燃費機関等の導入、LED魚灯の導入と発電機の削減、FRP容器とシャーベット氷の導入による高鮮度保持並びに軽劣化等	H24年度予定	【がんばるへ移行】平成23年12月21日漁業復興計画認定
28	(社)日本トロール底魚協会	宮城県塩釜	遠洋底びき網	(社)日本トロール底魚協会	○	平成21年7月7日	H21年8月から、遠洋底びき網漁船による新規漁場(インドネシア水域)の開発を行い、収益性回復の操業を実施	第六十八福吉丸	マイルド	—	インドネシア200海里内新規漁場開発、同海域未利用資源市場調査等	H21年8月開始(1年目で終了)		
29	(社)海外まき網漁業協会	山川	海外まき網	山川町漁業協同組合	○	平成21年7月7日	H21年11月から、加工原料及び海外漁場の確保を図るため、ハブアニューギニアを基地としたまき網漁業を行うことで、収益性回復の実証操業を開始 *H23年11月で終了	第八わかば丸	マイルド	—	国際漁場競争力強化、節節原料安定供給等	H21年11月開始 H23年11月終了		
30	奈留町漁業協同組合	五島中型まき網	中型まき網	奈留町漁業協同組合	○	平成22年3月25日	H22年6月から、4船団で協業化・船団縮小(灯船2隻と運搬船1隻を削減し、トータルコストの削減、高付加価値の取組等の収益性回復の操業を開始。 H23年4月から、船団縮小(7隻→6隻)、運搬機能付き改革型網船の導入等による操業を開始。	恵比須丸	改革型	—	省エネ型主機の搭載、保冷機能を装備した網船兼運搬船の導入、運搬船1隻の廃止による操業形態の合理化(7隻、乗組員30人→6隻、乗組員27人)	平成23年4月開始		
							第八十八順洋丸、第二十八有漁丸、第一喜久丸、大黒丸	マイルド	—	灯船2隻と運搬船1隻を削減し、灯船2隻と運搬船1隻の共同利用による操業形態の合理化、まぐろ養殖向け餌料供給	H22年6月開始 H24年5月終了			
31	宮崎県漁業協同組合連合会	北浦	中型まき網	北浦漁業協同組合	○	平成22年8月30日	H23年4月から改革型2船団、マイルド型4船団による共同探索、運搬船の相互利用、アジの活魚化効率向上、ゴマサバの善養(投餌)・活魚出荷の実現に向けた操業を開始	第十二海幸丸 第六十八浩栄丸	改革型	—	低抵抗船型及び氷運搬機能付き網船の導入等による省エネ・省人化並びに北浦灘アジの活魚率向上等	H23年4月開始		
								第二十八申栄丸、海漁丸、第三十六長漁丸、龍王丸 他	マイルド	—	共同探索、運搬船の相互利用等による操業効率及び活魚化率の向上等	H23年4月開始		
32	野母崎三和漁業協同組合	野母崎	中型まき網一本釣り	野母崎漁業協同組合	—	—	H23年度より地域プロジェクトを休止	—	—	—	—	—		

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					備考	
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称		漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト		実証(用船)開始
33・34	鳥取県漁業協同組合	網代港	省エネ化部会(沖底)	沖合底びき網	鳥取県漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	H23年4月から、保冷装置付活魚水槽等を装備した新たな改革型漁船による操業を開始	平成丸	改革型	—	保冷装置付活魚水槽等を装備した新たな改革型漁船を導入、高鮮度化と未利用魚の有効利用により付加価値向上	H23年4月開始	
			定置網部会	定置網	鳥取県漁業協同組合	○ 平成23年8月23日	H24年4月から、高付加価値化・省力化の改革型漁船の導入、揚網作業の効率化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等の操業を開始	開幸丸	改革型		新船(活魚倉)の導入による活魚出荷、冷海水装置の導入による高鮮度保持、蓄養による出荷調整、網目拡大による網なり維持と資源保護	H24年4月開始	
35・36	(社)全国近海かつお・まぐろ漁業協会	近海かつお・まぐろ	沖縄地区	近海まぐろ延縄	未定	策定中	魚艙構造の改善による高度衛生化、シャーベット海水氷を用いた冷却活用による鮮度向上		マイルド				
			日南・南郷地区	近海かつお一本釣り	日南市漁業協同組合	○ 平成22年6月30日	H23年4月から、船体の小型化(70トン→19トン)、漁獲物の高品質化等の改革型漁船による操業を開始	第28進漁丸	改革型(省エネ)	○	小型化(70→19t)、省エネ化タイプ船、海水滅菌装置導入等による高品質化、居住性安全性の向上等	H23年4月開始	
37	落石漁業協同組合	根室		サケ定置等	未定	策定中	高鮮度・高品質出荷に向けた取組を検討	未定丸					
38	紋別漁業協同組合	オホーツク紋別		小型機船底びき網	紋別漁業協同組合	○ 平成22年6月30日	当該地域で6隻廃用し、衛生管理型省エネ船2隻を導入し、漁獲から出荷まで一貫した衛生管理の取組を検討 * H23年3月新船導入		—	—	—	H23年3月新船導入	
39	宮城県漁業協同組合	亶理		小型機船底びき網	宮城県漁業協同組合	○ 平成23年2月18日	小型底びき網漁業と火光利用敷網漁業との兼業化、漁獲物の活魚出荷率の向上等	JF幸邦丸	改革型	—	小型底びき網漁業と火光利用敷網漁業との兼業化、低抵抗漁具の導入、漁獲物の高鮮度化と活魚出荷率の向上等	H24年度予定(がんばんる漁業)	【がんばんるへ移行】 平成24年3月15日 漁業復興計画認定
40	八幡浜漁業協同組合	八幡浜		沖合底びき網(2そう曳き)	未定	策定中	2艘曳き沖合底びき網漁船の省エネ・省人化、不付加価値向上等の方向性を検討		改革型マイルド				
41	岩手県底曳網漁業協会	宮古・釜石		沖合底びき網(2そう曳き)	宮古漁業協同組合	○ 平成23年5月13日	省エネ型漁船の導入、省人化・省力化、漁獲物の衛生管理・付加価値の向上等の改革型漁船の建造を予定	未定丸	改革型		魚倉口の拡大とコンベアの導入による省人・省力化、甲板上構造物の軽量化とハードオーニングの設置、船員居住区の拡張等	H24年7月開始(がんばんる漁業)	【がんばんるへ移行】 平成24年3月15日 漁業復興計画認定
42	三重外湾漁業協同組合	三重外湾		中型まき網	三重外湾漁業協同組合	○ 平成23年8月23日	船団の縮小(6→4隻)、高度衛生化網船の導入、ウォーターバックによる活魚輸送、漁獲物の高付加価値化・安定供給等	未定丸	改革型	○	操業方式の変更等による船団縮減、網船の小型化、漁具軽量化、滅菌海水装置及びシャーベット水導入による高鮮度化、ウォーターバックによる活魚・活餌の強雨供給等	平成24年度予定	
43・44	青森県漁業協同組合連合会	青森県漁業	深浦地区	沖合底びき網	深浦漁業協同組合	○ 平成23年8月23日	省エネ型小型漁船(50トン型→19トン)の導入、漁獲物の衛生管理・付加価値の向上等	未定丸	改革型		小型化(53→19t)、省エネ船型・機関等の導入、滅菌・冷海水による冷水締め、船上選別の強化による販促等	平成25年度予定	
			十三地区	底建網	未定	検討中	省エネ・安全性に優れた漁船の導入、高鮮度・高品質化の促進等に向けた取組を検討		改革型				
45	(社)全国遠洋沖合いかつり漁業協会	全国遠洋沖合いかつり		いか釣り	未定	策定中	省エネ・高品質化の促進等に向けた取組の検討		改革型マイルド				
46	京都府漁業協同組合連合会	舞鶴市		定置網	京都府漁業協同組合	○ 平成23年8月23日	操業体制の再編、改革型漁船・漁具の改良等による省人省力化、コスト削減、1次加工・活魚率向上等による付加価値向上	未定丸	改革型		新船の導入による省人・省力化及び船団縮小、冷海水装置の導入による鮮度保持・活魚出荷、網目拡大による漁獲の向上・破網の減少等	平成24年度予定	

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					備考	
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況		コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト		実証(用船)開始
47	枕崎市漁業協同組合	枕崎	遠洋かつお(一本釣り・まき網)	枕崎市漁業協同組合		策定中	新たな漁法の導入、高品質化に向けた取組を検討		マイルド				
48	山口県漁業協同組合	萩市小型いかつり	小型いかつり	山口県漁業協同組合		平成24年3月15日	協業化の手法の検討、新型いか釣り機の導入による操業効率の向上、LED漁灯の導入による省エネ、漁獲物の高付加価値化等	神勢丸 他	マイルド		共同による漁場探索、運搬等の実施、丸型ドラム自動いか釣り機の導入による操業効率の向上、LED漁灯/パネルの可動式化、船上箱詰の規格化等	H24年6月開始	
49	長崎県以西底曳網漁業協会	長崎以西底曳網漁業	以西底びき網	未定		策定中	省エネ、高鮮度保持等の取組を検討						
50	社団法人海外まき網漁業協会	かつお枕崎	海外まき網	未定		策定中							
51	佐賀玄海漁業協同組合	佐賀玄海	小型いかつり	未定		策定中							

*取組タイプ:「改革型」とは、改革型漁船の導入等による収益性改善の取組をいい、「マイルド」とは、3%以上の生産性向上等の収益性回復の取組をいう。

漁業構造改革総合対策事業の進捗状況

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						生け簀借り上げ等の概要					備考
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況		コンセプト	用船名	取組みタイプ	個別コンセプト	実証開始	
52	愛媛県漁業協同組合連合会	愛媛県真珠養殖業	真珠養殖業	明浜漁業協同組合、他5漁協	○	平成22年6月30日	当年物真珠から越物真珠生産への切り替えを中心とした、高品質化による生産性向上の取組を開始	—	改革型	越物真珠生産による高品質化、各地区ごとの海洋環境に合わせた養殖方法の最適化、2年貝、国産貝の使用と2核挿入の導入、共販体制強化・販売ロットの大型化、需要にあわせたサイズ供給	H22年11月開始	
53	立神真珠養殖漁業協同組合	立神真珠養殖業	真珠養殖業	立神真珠養殖漁業協同組合	○	平成24年3月27日	日本産アコヤ貝を使用した生産による真珠の品質向上、養殖漁場の利用方法の統一等の取組を開始	—	改革型	日本産アコヤ貝による真珠生産による高品質化及び労力の軽減、適正な密度での養殖生産による感染症防止や環境負荷の軽減、品質評価の細分化等	H24年4月開始(がんばんる養殖)	【がんばんるへ移行】平成24年3月27日養殖復興計画認定
54	鹿児島県漁業協同組合連合会	鹿児島県魚類養殖業	魚類養殖業	未定		策定中						